

アメリカミシガン州駐在員便り

2012/6/30 駐在員 瀧 健太郎

【青い目の人形とミス滋賀】

6月24日に甲賀市で「青い目の人形シンポジウム」が開催されました。駐在員が少しお手伝いをさせていただいたのですが、その過程で素敵な交流があったのでご紹介します。

1927年（昭和2年）3月、日米の親善活動の一環として、米国から日本郵船の天洋丸で日本の子供に12,739体の「青い目の人形」が贈られ、全国各地の幼稚園・小学校に配られて歓迎されました。そしてその返礼として、渋沢栄一が中心となって「答礼人形」と呼ばれる市松人形58体が同年11月に日本から米国に贈られたそうです。

滋賀県からの「答礼人形」である“ミス滋賀”は現在、行方不明となっていますが、古い文献にはマイアミ市のフレグラール図書館にあった記録されています。その情報をもとに今回マイアミ市内の公立図書館（[Miami-Dade Public Library](#)）に問い合わせました。

- フレグラール図書館は私立図書館で既に閉館している。
- 答礼人形は公立図書館には引き継がれていない。
- 関係機関やフレグラール図書館での勤務経験があるものに問い合わせたが、フレグラール図書館に答礼人形があったとの証拠も得られなかった。
- したがって、もともとフレグラール図書館にもないか、閉鎖時に無くなった可能性が高い。

この回答に意気消沈していましたが、数日後、市立図書館から倉庫内に日本人形が見つかったとの連絡があり、お願いしてシンポジウムの直前にその写真を送付してもらいました。

奇跡を信じて、すぐさまシンポジウムのコーディネータの大平正道先生にお送りして真偽を確認してもらいましたが、残念ながら「ミス滋賀」ではありませんでした。答礼人形はすべて市松人形でおかっぱ頭なのだそうです。今回「ミス滋賀」は見つかりませんでした。突然の問い合わせに対して滋賀県のためにと、懸命に対応してくださった公立図書館のみなさんに感謝です。小さいけれどとても温かい交流ができました。



マイアミ・デード郡立図書館から送られてき日本人形の写真